

産業能率大学 情報マネジメント学部

学び方修得ゼミⅡ	履修年次	1	
	単位	2	
橋本 諭、小田 実、神戸 正志、古賀 暁彦、清水 正博、田辺 公一朗、友寄 隆哉、中野 耕助、兵頭 良純、三浦 智恵子、森本 浩司、山本 元、渡邊 司揮	配当期	後	
	授業方法	演習 / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>後学期は「観察によって学ぶ」「ひとり探究型プロジェクト」という2つのユニットで構成される。</p> <p>前半のユニットはグループ活動で、キャンパスを舞台に実践的な内容に取り組む。「フィールドワーク」という活動を行い、情報収集、分析、問題解決策の検討、具体策の立案というプロジェクトを実施する。なお、プロジェクトの成果はクラスの中だけではなく、瑞木祭においてクラス対抗発表大会として科目全体として実施する。</p> <p>後半の「ひとり探究型プロジェクト」は、時間をかけた個人ワークを行う。自分の興味を持つ分野について取り上げ、新聞等を活用しながらテーマに関する社会状況について調査する。これまで学んだ内容を駆使しながら長文のレポートの作成、プレゼンテーションを行う。なお、これらを通じて適切な文章の書き方、レポートの書き方、引用方法等についても学習する。</p> <p>この2つのユニットにおいて、今後の大学生活に必要なスタディ・スキルを身につける事のみならず、ジェネリックスキルの向上も期待される。前学期よりも個々人の積極的な参加意識、チームに対して貢献するという意識が求められる。また、スケジュール管理や自らのタスク管理等も必要になる総合的な能力が求められる。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・初歩的なフィールドワークの手法を学び、観察する態度が身についている。 ・グループ・プロジェクトにおいて、協調性や計画性、責任感が身につき、協働の質が以前より向上している。 ・客観的、批判的な視点を持つことを意識して、主体的に情報収集することができる。 			
成績評価の方法			
授業出席と課題提出を重視する。全授業への出席および参画、指示された課題や成果物の提出が前提となる。			
週	授業項目	週	授業項目
1	ガイダンス	8	観察によって学ぶ7 振り返り
2	観察によって学ぶ1 テーマ選定	9	ジェネリックスキル養成3 コンピテンシー分野
3	観察によって学ぶ2 予備調査	10	「ひとり探究型プロジェクト」1
4	観察によって学ぶ3 本調査	11	「ひとり探究型プロジェクト」2
5	観察によって学ぶ4 資料準備	12	「ひとり探究型プロジェクト」3
6	観察によって学ぶ5 発表1	13	「ひとり探究型プロジェクト」4 発表1
7	観察によって学ぶ6 発表2	14	「ひとり探究型プロジェクト」5 発表2 振り返り